

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28 年 3 月 31 日

計画の名称	1 横須賀港における安全・安心対策に係る港湾・海岸の整備（防災・安全）																																				
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）					交付対象	横須賀市																														
計画の目標	台風や低気圧等に伴う、高潮（越波、浸水）等への対策、砂浜の侵食（護岸崩壊、越波）対策として、海岸保全施設を整備し、人命・財産を防護する。 また、既存施設の適切な維持管理及び改良を行い、船舶係留や荷役作業の安全性、背後地利用の安全性等の確保を図る。																																				
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水想定区域面積を19.6ha（想定区域内人口1,084人）（H22）から0ha（H26）へ減少させる。</li> <li>・横須賀港における防波堤、係留施設のうち、長寿命化計画を策定すべき76施設の維持管理計画の策定が完了した施設数を0施設から76施設へと拡大する。</li> <li>・老朽化する港湾施設の改良、改修を図ることにより、港湾利用者に安全で使いやすい施設を提供する。</li> </ul>																																				
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H22当初)</th> <th>(H24末)</th> <th>(H26末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 浸水想定区域面積／人口</td> <td>19.6ha／1,084人</td> <td>-</td> <td>0ha／0人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 横須賀港における防波堤、係留施設のうち、長寿命化計画を策定すべき全施設の維持管理計画を策定する。</td> <td>0施設</td> <td>-</td> <td>76施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 老朽化施設の改良率（老朽化した施設の早期に改良が必要な部位についての整備率） （改良完了施設数／早期改良が必要な施設数）</td> <td>0%</td> <td>-</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H22当初)	(H24末)	(H26末)	① 浸水想定区域面積／人口	19.6ha／1,084人	-	0ha／0人		② 横須賀港における防波堤、係留施設のうち、長寿命化計画を策定すべき全施設の維持管理計画を策定する。	0施設	-	76施設		③ 老朽化施設の改良率（老朽化した施設の早期に改良が必要な部位についての整備率） （改良完了施設数／早期改良が必要な施設数）	0%	-	100%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																	
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																																		
	(H22当初)	(H24末)	(H26末)																																		
① 浸水想定区域面積／人口	19.6ha／1,084人	-	0ha／0人																																		
② 横須賀港における防波堤、係留施設のうち、長寿命化計画を策定すべき全施設の維持管理計画を策定する。	0施設	-	76施設																																		
③ 老朽化施設の改良率（老朽化した施設の早期に改良が必要な部位についての整備率） （改良完了施設数／早期改良が必要な施設数）	0%	-	100%																																		
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,033百万円	A	2,016百万円	B	0百万円	C	18百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.9%																										
<b>事後評価</b>																																					
○事後評価の実施体制、実施時期																																					
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期																															
横須賀市の内部評価						平成27年度																															
						公表の方法																															
						市ホームページ																															
1. 交付対象事業の進捗状況																																					
交付対象事業																																					
A1 海岸事業																																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別①	種別②	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考																				
											H22	H23	H24	H25	H26																						
1-A1-1	海岸	一般	横須賀市	直接	-	高潮	継続	横須賀港海岸	護岸L=517m	横須賀市						687.3																					
1-A1-2	海岸	一般	横須賀市	直接	-	侵食	継続	横須賀港海岸	突堤1基、離岸堤8基	横須賀市						1133.5																					
小計(海岸事業)												1,821																									
A2 港湾事業																																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考																				
											H22	H23	H24	H25	H26																						
1-A2-1	港湾	内地	横須賀市	直接	-	重要	維持管理	長寿命化計画策定	係留施設57件、防波堤18件、臨港交通施設1件	横須賀港						36.3	継続																				
1-A2-2	港湾	内地	横須賀市	直接	-	重要	改良	新港2号防波堤	延長 L=120m	横須賀港(新港地区)						107.2	統合①																				
1-A2-3	港湾	内地	横須賀市	直接	-	重要	改良	平成2号岸壁	水深 D=-5.5m、延長 L=270m	横須賀港(平成地区)						41.2	統合②																				
1-A2-4	港湾	内地	横須賀市	直接	-	重要	改良	平成物揚場	水深 D=-2.5m、延長 L=380m	横須賀港(平成地区)						10.0	統合②																				
小計(港湾事業)												195																									
合計												2,016																									
B 関連社会資本整備事業																																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考																					
										H22	H23	H24	H25	H26																							
合計																																					
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																										

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
1-C-1	計画・調査	一般	横須賀市	直接	—	調査	野比地区汀線変化モニタリング調査	深淺測量 (2.2km×0.15km)	横須賀市							17.8	
										合計					18		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
1-C-1	汀線変化モニタリング調査を実施し、施設整備中の侵食・堆砂の状況を把握することで、柔軟的な整備計画の見直しを図れコスト削減効果や、整備順序の変更による背後地の被害軽減効果が発揮される。																

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

**I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況**

指標①：野比地区の侵食対策事業では8基中6基の離岸堤整備が完了し、同離岸堤群の背後では浸水や侵食からの防護が図られた。  
 指標②：対象となる全76施設の港湾施設の維持管理計画が策定され、計画に基づいた適切な維持管理が可能となった。  
 指標③：安全性確保が求められている施設のうち、特に緊急性の高い施設・部位について改良を進め、安全性の確保が図られた。

II 定量的指標の達成状況		最終目標値	0ha/0人	目標値と実績値に差が出た要因	・海岸施設の整備は下部工から上部工に向けて水平的に施工を進めるものであるが、上部工まで完了しないと所要の機能を発揮しないため、定量的指標の数値改善に至らない事業があった。
指標①（浸水想定区域面積及び想定区域内人口）	最終実績値	15.6ha/933人			
	最終目標値	76施設		目標値と実績値に差が出た要因	・目標値を達成
指標②（維持管理計画策定施設の割合）	最終実績値	76施設			
	最終目標値	100%		目標値と実績値に差が出た要因	・緊急性や即効性の高い事業を優先的に実施しており、目標を達成するための整備の進捗が図れなかった。
指標③（老朽化施設の改良率）	最終実績値	33%			

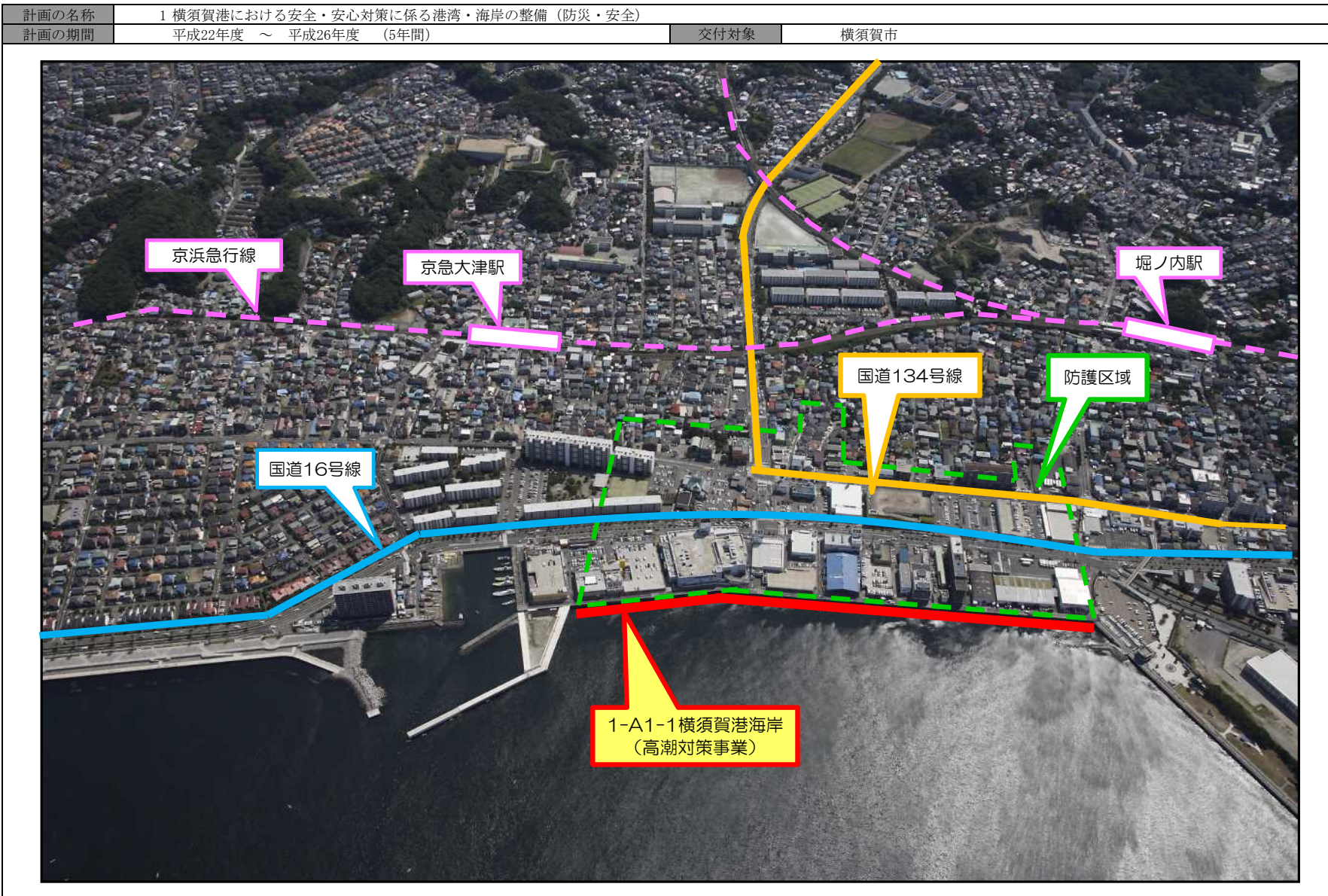
**III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）**

・野比地区侵食対策事業の離岸堤の整備に伴い、背後道路の崩落防止が図られた。

## 3. 特記事項（今後の方針等）

本整備計画で対象としている海岸事業は、多くの市民の生命、財産の安全を確保するために必要な事業であり、引き続き継続していくこととする。  
 また、整備が完了していない港湾事業については、耐震強化岸壁や漁業利用により利用頻度の多い施設であり、安全性確保が必須であるため、引き続き継続していくこととする。

(様式3) 海岸事業

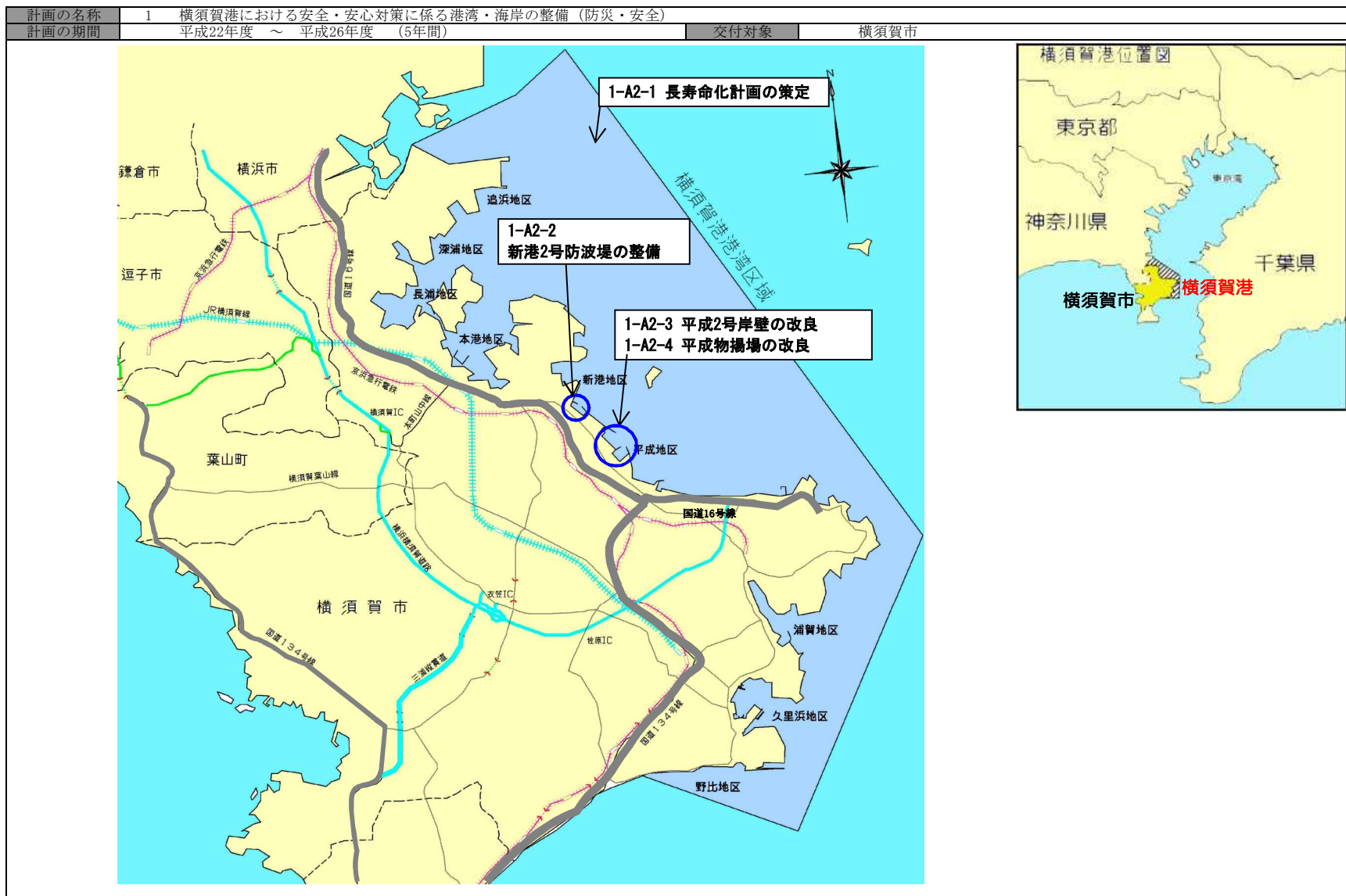




(様式3) 海岸事業



(様式3) 港湾事業





(様式3) 港湾事業

